

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質・性能									2.9
Q-1 室内環境									3.1
1 音環境									2.9
1.1 騒音									
1 暗騒音レベル					3.0	0.15	2.8	1.00	2.9
2 機械騒音対策					3.0	1.00	3.0	1.00	
1.2 遮音									
1 開口部遮音性能					3.0	0.40	3.2	0.50	
2 界壁遮音性能					3.0	0.98	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	0.02	3.0	0.30	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-	4.0	0.20	
5 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音					3.0	0.20	2.0	0.21	
2 温熱環境					3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御									
1 室温設定					3.0	0.63	3.0	0.63	
2 暖房機器・通気制御性					-	-	-	-	
3 外皮性能					3.0	0.95	3.0	1.00	
4 ゾーン別制御性					3.0	0.05	-	-	
5 温度・湿度制御					-	-	-	-	
6 個別制御					-	-	-	-	
7 時間・空間・気象に対する配慮					-	-	-	-	
8 監視システム					-	-	-	-	
2.2 湿度制御					-	-	-	-	
2.3 空調方式					3.0	0.38	3.0	0.38	
3 光・視環境					3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
3.1 昼光利用									
1 昼光率					3.0	0.30	3.0	0.30	
2 方位別開口					3.0	0.60	3.0	0.50	
3 昼光利用設備					3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策					3.0	0.30	3.0	0.30	
1 照明器具のグレア					-	-	-	-	
2 昼光制御					3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度					3.0	0.15	3.0	0.15	
1 照度					3.0	1.00	3.0	1.00	
2 照度均斉度					-	-	-	-	
3.4 照明制御					3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境					3.6	0.25	3.6	1.00	3.6
4.1 発生源対策									
1 化学物質汚染					4.0	0.60	4.0	0.63	
2 放射線対策					4.0	1.00	4.0	1.00	
3 大気汚染					-	-	-	-	
4 レゾナンス対策					-	-	-	-	
4.2 換気					3.0	0.40	3.0	0.38	
1 換気量					3.0	0.49	3.0	0.33	
2 自然換気性能					3.0	0.01	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.49	3.0	0.33	
4 換気計画					-	-	-	-	
4.3 運用管理					-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視					-	-	-	-	
2 喫煙の制御					-	-	-	-	
Q-2 サービス性能					-	0.30	-	-	2.9
1 機能性					3.5	0.40	3.0	1.00	3.1
1.1 機能性・使いやすさ									
1 広さ・収納性					3.9	0.60	3.0	0.60	
2 高度情報通信設備対応					3.0	0.01	-	-	
3 バリアフリー計画					1.0	0.01	3.0	1.00	
4 バリアフリー計画					4.0	0.97	-	-	
1.2 心理性・快適性					3.0	0.40	3.0	0.40	
1 広さ感・景観					3.0	0.01	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					3.0	0.01	-	-	
3 内装計画					3.0	0.97	3.0	0.50	
2 耐用性・信頼性					2.9	0.31	-	-	2.9
2.1 耐震・免震									
1 耐震性					3.0	0.48	-	-	
2 免震・制振性能					3.0	0.80	-	-	
3 免震・制振性能					3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.33	-	-	
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔					3.0	0.29	-	-	
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔					3.0	0.12	-	-	
3 配管・配線材の更新必要間隔					3.0	0.29	-	-	
4 主要設備機器の更新必要間隔					3.0	0.29	-	-	
2.3 適切な更新					-	-	-	-	
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新					-	-	-	-	
2 配管・配線材の更新					-	-	-	-	
3 主要設備機器の更新					-	-	-	-	
2.4 信頼性					2.6	0.19	-	-	
1 空調・換気設備					3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備					3.0	0.20	-	-	
3 電気設備					3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備					1.0	0.20	-	-	

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
3 対応性・更新性					2.9	0.29	2.6	1.00	2.6
3.1 空間のゆとり					2.4	0.01	3.2	0.50	
1 階高のゆとり				住戸部分の階高が2.9m以上。	2.0	0.60	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					3.0	0.40	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					2.0	0.01	2.0	0.50	
3.3 設備の更新性					3.0	0.97	-	-	
1 空調配管の更新性					3.0	0.17	-	-	
2 給排水管の更新性					3.0	0.17	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.11	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.22	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22	-	-	
Q-3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	2.6
1 生物環境の保全と創出		G			2.0	0.40	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		G			3.0	0.20	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.40	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	0.40	-	-	3.2
LR-1 エネルギー					-	0.40	-	-	3.7
1 建物の熱負荷抑制	W				3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.20	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				3.0	0.50	-	-	
2.2 自然エネルギーの変換利用	W		S		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	W			年間照明消費エネルギーの消費量が少ない。	4.8	0.40	-	-	4.7
4 効率的運用					-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	W				-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	W				-	-	-	-	-
LR-2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護					3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 節水	W				3.0	0.60	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水再利用					3.0	0.40	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-	
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-	
2 低環境負荷材					3.1	0.85	-	-	3.1
2.1 資源の再利用効率					2.3	0.35	-	-	
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-	
2 非構造材料の再利用効率	W				1.0	0.33	-	-	
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				3.0	0.04	-	-	
2.3 有害物質を含まない材料	W			有害物質を含有しない多くの建材種別を使用。	5.0	0.08	-	-	
2.4 既存建築躯体などの再利用	W			解体時に躯体と仕上げ材が容易に分別可能。	3.0	0.18	-	-	
2.5 部材の再利用可能性	W				4.0	0.18	-	-	
2.6 フロン・ハロンの回避					3.0	0.18	-	-	
1 消火剤	W			ハロン消火剤を使用していない。	4.0	0.50	-	-	
2 断熱材	W				2.0	0.50	-	-	
3 冷媒	W				-	-	-	-	
LR-3 敷地外環境					-	0.30	-	-	2.6
1 大気汚染防止	W			オール電化設備で大気汚染物質を発生しない。	5.0	0.10	-	-	5.0
2 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.05	-	-	3.0
2.1 騒音					3.0	0.33	-	-	
2.2 振動					3.0	0.33	-	-	
2.3 悪臭					3.0	0.33	-	-	
3 風害、日照障害の抑制					3.0	0.10	-	-	3.0
3.1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-	
3.2 日照障害の抑制					3.0	0.30	-	-	
4 光害の抑制				広告塔は未設置、外壁の反射光についても特に影響なし。	4.0	0.05	-	-	4.0
5 温熱環境悪化の改善	W	G	S		1.0	0.30	-	-	1.0
6 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.40	-	-	3.0
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-	
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-	
6.3 交通負荷抑制				適切な量の自転車置場、駐車スペースの設置。	4.0	0.30	-	-	
6.4 廃棄物処理負荷	W		S		2.0	0.30	-	-	
■ LR-1 用途別得点表									
		集合住宅	事務所						面積按分 総合スコア
		2,899 m2	129 m2						
1 建物の熱負荷抑制		3.0	-						3.0
3 設備システムの	ERRIによる評価	-	データ未入力						
3 設備システムの	個別設備による評価	5.0	-						4.78739216
3.1 空調設備		-	-						-
3.2 換気設備		-	-						-
3.3 照明設備		5.0	-						-
3.4 給湯設備		-	-						-
3.5 昇降機設備		-	-						-